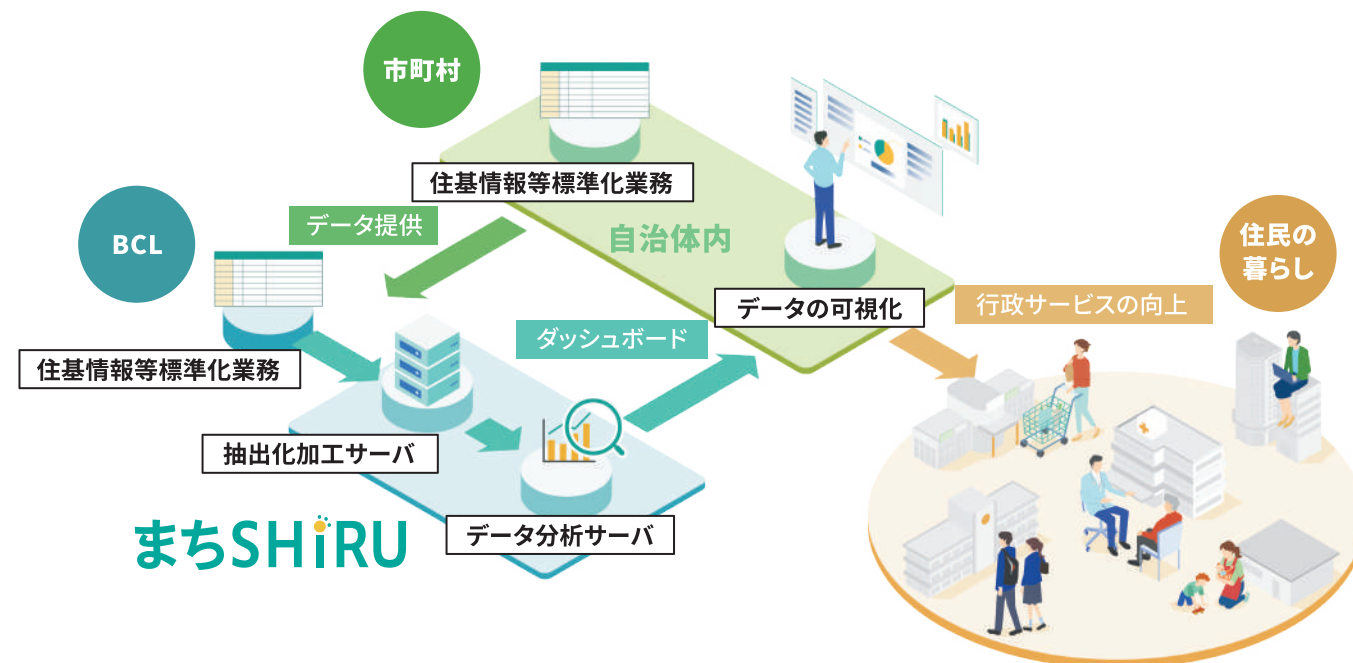




主な機能

ダッシュボード機能	集計された自治体データをグラフやチャートで直感的に可視化します。
データ取込機能	基幹データを安全に取り込み、個人情報自動でハッシュ化します。
ユーザー・権限管理	利用者がアクセス範囲を柔軟に設定できる管理メニューを備えています。
Tableauライセンス附帯	可視化ツール「Tableau」の利用ライセンス(Explorer相当3名／Viewer相当12名)を標準で利用可能です。
シングルサインオン対応	OpenID Connectによる簡単ログインで、業務の手間を削減します。
標準化データ対応	国が定めた20業務のうち、まずは(住基、国保、健康管理)に標準対応。他業務にも順次対応していきます。

● 対応ブラウザ: Microsoft Edge、Google Chrome
● Tableau製品は、Tableau Software Inc.の商標または登録商標です

よくある質問

どのような業務で活用されていますか？

地域別の人口推計、子育てや高齢者施策の立案、健康診断受診率の改善など、幅広い政策立案業務でご活用いただいています。

個人情報の取り扱いについて不安があります。

「まちSHiRU」は、J-LISが運用・提供するBCL上に構築されており、コンビニ交付でも利用されている高いセキュリティ環境を備えています。また、個人情報についてはプライバシーに配慮した抽象化処理を施しており、自治体の皆様には統計目的で安心してご利用いただけます。

効果が見えるのか心配です。予算化の説得材料になりますか？

データに基づいた施策立案が可能となり、「勘や経験」に頼らない意思決定が実現します。他自治体の成功事例や、費用対効果のイメージ資料もご提供いたします。

導入費用と年間コストはどれくらいですか？

自治体の規模(人口等)に応じた価格体系をご用意しています。詳細な価格表をご案内できますのでお気軽にお問い合わせ下さい。

● お問い合わせ・資料請求は、まちSHiRU公式サイトから

まちSHiRU

検索



<https://machi-shiru.atl-systems.co.jp/>

● 開発元

ATL Systems

株式会社エーティーエルシステムズ
〒400-0865 山梨県甲府市太田町9番7号
<https://www.atl-systems.co.jp/>

※本パンフレットに記載の情報は、2025年8月時点のものです。内容は変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

データで知る、 これからの描く。



まちSHiRU

自治体ビッグデータの力を、日々の意思決定に。

全国の自治体職員に寄り添う、

クラウド型データ分析・可視化ツール。



ATL Systems

まちSHiRUとは？

全国の自治体では今、住民サービスの向上と業務効率化をめざす「自治体DX」が加速しています。オンライン申請や業務の効率化、システムの共同利用など、国を挙げた取り組みも進められています。

こうした流れの中で生まれたのが、

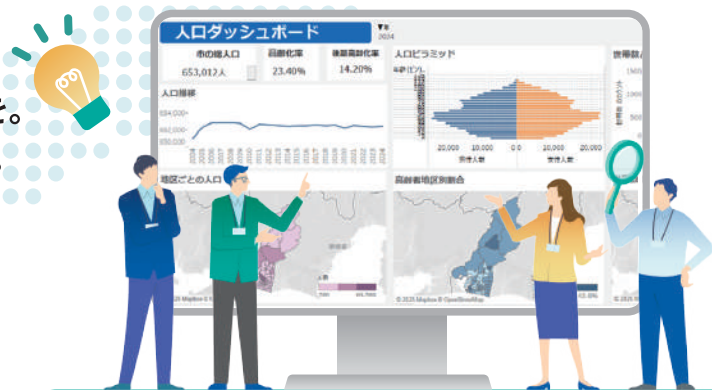
行政データ分析・可視化ツール『まちSHiRU』。

J-LIS（地方公共団体情報システム機構）のBCL（自治体基盤クラウド）に蓄積された標準データを、だれでも直感的に使えるダッシュボードで見える化。

必要なタイミングでの加工・分析も可能です。

可視化にはTableauを使用し、SaaSモデルで提供されることで、導入のしやすさと高いセキュリティを両立しました。

さあ、『まちSHiRU』で、データにもとづくまちづくりを。
伝わる施策と、しっかり成果につながる戦略立案を。



まちSHiRUで実現する

国の採択事業で実証済み。
標準データを最大限に活かす、自治体DXの新たなスタンダード。

人口減少・高齢化により、地域の過疎化や人材不足が深刻化。2040年には、全国的に公共サービスの維持が困難な自治体の増加が予測されています。限られた人員と財源で、住民サービスの質を維持・向上させるためには、業務フローや情報管理の見直し、そして「デジタル化」×「データ活用」による抜本的な改革が不可欠です。

そのような課題に対し「まちSHiRU」は

✔ ビッグデータの統合・連携・分析 ✔ データに基づく判断と施策 ✔ 地域資源や課題の「見える化」

を後押しし、自治体職員の“気づき”と“判断”を支えます。

総務省フロントヤード改革モデル事業での採択から、全国展開へ

令和6年度、つくば市と浜松市が国の「フロントヤード改革モデル事業」に選定され、公共施設の再配置や保育施設の需要分析などの行政課題に対応するため、エーティーエルシステムズと共同で住民情報の見える化・地域データ活用のためのシステムを構築。

この実証を通じたノウハウをもとに発展したのが「まちSHiRU」。全国の自治体で活用できるよう共通基盤として再設計され、柔軟で汎用的な仕組みが実現しました。



茨城県 つくば市

- 人口:26万人 ●人口密度:917人/km²
- 特徴:研究学園都市、施行時特例市、人口増加
- 主なKPI(～令和9年度末)
- ①分析結果を「エビデンス」として利用:20ケース
- ②本基盤で作成した表・グラフの数:40個

静岡県 浜松市

- 人口:78万人 ●人口密度:504人/km²
- 特徴:「国土軸図型」都市、政令指定都市、人口・面積県内最大
- 主なKPI(～令和9年度末)
- ①分析結果を「エビデンス」として利用:60ケース
- ②本基盤で作成した表・グラフの数:60個



まちSHiRU の主な特徴



1 標準化データを、すぐ・安全・かんたんに活用

BCL上に集約された標準化データを活用し、サーバの設置も不要なクラウド型(SaaS)で、安心かつ簡単に導入いただけます。個人情報などの機密性が高いデータも、法令に則って安全に取り扱えるため、安心してご利用いただけます。

自治体の規模やIT環境を問わず、わかりやすいダッシュボードですぐにデータを活用していただけます。

2 Tableauを使った直感的な可視化で政策判断をサポート

複雑な統計情報や住民データも、地図上の地域をクリックするだけで、人口構成や世帯数の推移などがすぐに確認でき、直感的に状況を把握できます。見たいタイミングで必要な情報を素早く確認できるので、日々の施策判断をエビデンスに基づいて行えます。

さらに、過去の分析結果もすぐに振り返ることができるため、施策の効果検証にも役立ちます。



3 業務の属人化を防ぎ、継続性と効率化を実現

異動の多い自治体職員の皆さまにも対応できるよう、共通のフォーマットでデータを扱える仕組みを整えています。

業務の引き継ぎや計画の立案もスムーズになり、属人化を防ぐことができます。

さらに、標準化データに加えて、各自治体が独自に保有するデータも取り込めるため、地域ごとのニーズにも柔軟に対応できます。

新しい自治体運営

誰でもすぐに使える。驚きのカンタン操作で、データ利活用が加速する。

地図をクリックするだけで、グラフ化された分析データをすぐに表示。視覚的にわかりやすく、直感的に操作できるため、さまざまな施策へのデータ活用がスムーズに進みます。

データ利活用例

1 住民基本台帳データ(全般)

総合計画からこども計画まで、
各個別計画策定や政策検討に

定期的な見直しが求められる自治体の各種計画において、住民基本台帳などの統計データをもとに、収集・分析・グラフ化までを一括で実行。どの部門・職員でも使いやすいデータ管理を行い、異動や組織改編があってもスムーズにデータを引き継ぎ、計画や政策の検討に活用できます。

2 地域分析と生活支援の検討

住民構成のリアルタイム把握で、
施策を的確に

高齢者の一人暮らしや家族構成の地域分布を把握し、子育て・福祉施策の重点地域を判断できます。



3 健康施策の改善と効果測定

特定健診の未受診者フォローや、
効果の見える化に

健診・保健指導の効果を追跡し、住民の健康維持に貢献。

4 がん検診の受診状況把握

レセプトデータと突合し、受診
状況を可視化

必要な人に確実に届く検診促進のしくみづくりを支援。